



東日本ユニオンにいがた

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>

JR東日本労働組合新潟地方本部

2026年1月1日発行

第27号 (通巻第387号)

発行者：星山 圭 編集者：組織部



定年退職まで安心して働ける 組織・制度・環境を実現しよう！

新潟地方本部
星山執行委員長 年頭のあいさつ

組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございませう。

日頃より新潟地方本部の取り組みにご理解、ご協力頂いていることに感謝します。

また、新潟支社に所属し働く皆さん、新年明けましておめでとうございませう。

命と健康、日々の生活を大切にしながら、業務にあたりましよう。

2025年度年末手当の取り組みでは「全社員一律3・7カ月分」の支給を要求し、実現をめざしました。

低額だった会社回答に対して再考を求める取り組みも行い、全組合員の力で最後までたかい抜きましました。

残念ながら要求満額回答や、年間6・5カ月分の支給を実現することとはできませんでしたが、取り組みの過程では、社員の皆さんからも働きやすい制度を私たち自身の手でつくろう

昨年5月に中央本部が経営側から提案を受けた「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」は、JR東日本という会社の組織の形態を大きく変えるだけでなく、私たちの働

きやすい制度を私たち自身の手でつくろう

昨年5月に中央本部が経営側から提案を受けた「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」は、JR東日本という会社の組織の形態を大きく変えるだけでなく、私たちの働

きやすい制度を私たち自身の手でつくろう

を実現するために取り組みを創り出してきました。

「会社が提案した以上は何をしても変えられない」「不満はあるけど仕方がない」など後ろ向きな考えを払拭し、「定年退職まで働くために自分たちで制度を作り出そう」というポジティブな姿勢で会社提案に向き合ってきました。

人事・賃金制度の見直しに対しては、施策の解明に始まり、定年退職まで安心して働くためにはどのような制度であるべきか組合員相互で

昨年8月、白新線のワンマン列車が一部の旅客を乗車させずに発車したことについて「運転士の乗降確認が不十分だった」とするマスコミ報道が行われました。

労働者の視点で「当たり前」をチェックしよう

同時に、私たちの仕事が増えるべきことをやっていた運転士に責任を負わせるようなプレス発表を行った支社の姿勢に対して新潟地本は申し入れを提出し団体交渉を行いました。

今後とも会社側の理不尽な姿勢に対しては、労働組合として労働者を守る立場で臨んでいきます。

「今までこの条件でやってきた」「よく見えていないけどこれが普通」など、おかしいと思いがちながらも放置してきたものはないでし

うか？ 今回の白新線の事象をきっかけとして、運転に関わる設備・規則の不備を改める取り組みを進めていきます。

定年退職まで安心して働くために、今ある設備を見直し、安全・安心して業務遂行できる労働環境を労働者の力で創り出しましょう。

労働組合に所属していない社員の皆さん、会社側と団体交渉を通じて労働者の意見を直接交渉できるのは唯一労働組合だけです。

労働組合へ加入する仲間が増えれば、それだけ要求の実現にも近づきます。

労働組合に興味・関心をもつたら、職場や業務など疑問や不満があったら、まずは東日本ユニオンの組合員に声をかけてみてください。

新潟地方本部はいくつでも皆さんの加入をお待ちしています。皆さんのご健勝を祈念しまして年頭の挨拶とします。

新潟地方本部はいくつでも皆さんの加入をお待ちしています。皆さんのご健勝を祈念しまして年頭の挨拶とします。

新潟地方本部はいくつでも皆さんの加入をお待ちしています。皆さんのご健勝を祈念しまして年頭の挨拶とします。

